

JCHO うつのみや病院  
第7回地域医療連絡協議会議事録

- (日 時) 平成 31 年 2 月 22 日(金) 16:00～17:00  
(場 所) JCHO うつのみや病院 2階大会議室  
(出席者) 15 名  
(議 題) (1) 病院の概況について  
(2) 地域医療連絡協議会の役割  
(3) 経営改善に向けての当院の課題  
(4) その他

【概要】

(司会：栗原副施設長により進行)

1. 草野病院長あいさつ

JCHO では地域住民、有識者の方々から意見をお伺いし、地域医療に役立てることが明文化されている。本部へは病院が直接申立てするより、この会で議題として上がった内容を踏まえての申立ての方が力がある。大事な協議会となっていることを踏まえ、皆様からのご意見をいただきたい。どうぞ宜しくお願い致します。

2. 長田委員長あいさつ

JCHO うつのみや病院は私の所属する自治医大病院と連携病院として、良好な関係となっている。この会での内容を自治医科大学に持ち帰り、少しでも具現化できるように考えておりますので、今後とも宜しくお願い致します。

(これ以降、設置規程第7条により長田委員長が議事進行)

3. 議題

●事務局甲斐：(別紙スライド資料について説明)

- ・別紙資料参照。

○大和田委員：新築移転が理想的だが可能性はあるのか？

●草野委員：組織改革委員会で移転建替えの議論は始まっており、金額的には、費用の 20%を病院側が負担し、残り 80%を減価償却として充てられる。全体で 20 億円くらい必要。5 年、10 年で蓄積することができるのかがクリティカルな問題点となる。

○長田委員長：駐車場の改修、宿舎の建て替え、病院の空調・ポンプ等の整備の問題は、本部の回答を待っている状態か？

●事務局甲斐：前例が無いという理由で受け付けてもらえていない。JCHO は法律で地域の有識

者の意見を反映させる協議会を開催することが決まっております、この場で議論した内容を本部に上げたいと考えている。

- 長田委員長：独協医科大学も自治医科大学も駐車場は、整備が必要なことから料金を徴収している。
- 草野委員：駐車場に関しては有料にして委託会社に整備してもらうのが良いのか、現状のままで行くのかの選択となっている。住民の皆様から有料化の理解が得られれば、整備の方向で進めたい。ただ、新築された石橋病院は駐車場代を徴収していないため、理解を得られるか若干の懸念を持っている。
- 潮田委員：主婦の感覚からしても、1回100円できれいな駐車場を利用できるのであれば、理解されると考える。駐車場代が100円掛かるからといって、受診をしないという方はおられないと思います。
- 事務局甲斐：今回提案させていただいた駐車場の委託については、病院の持ち出しはなく、更に現在経費として掛かっているガードマン代もゼロになり、路面のデコボコも補修してもらえ。基本は100円の徴収で運営出来るとの回答を業者からいただいている。看護宿舎についても現在の場所に建て替えて、住居手当が付く賃貸料設定が可能との回答をいただいております、本部の許可が下りればすぐにでも実現可能な状況。
- 山口委員：宿舎を建て直したら、10年後に移転できなくなるのではないかと？
- 事務局甲斐：この3つについては、いずれも10年などの長期契約で実現が可能。
- 長田委員長：どこに委託をすれば実現出来るのか？
- 事務局甲斐：仕組みはどれも同じで、PFI法という民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用した公共施設等の整備等の促進を図るための法律を使い、各メーカーとファイナンス会社と金融機関とが組むことで、可能となる。現在は管理・運営も委託することができ、全国の博物館、美術館などで一般化してきている手法。
- 大和田委員：10年後に建て替えが必要であれば、10年を良い状態で持たせなければならない。詳細な仕組みはわからないが、このような方式を使うことができるのであれば、検討の余地はあるのではないかと。
- 長田委員長：飛行場などでも使われている。土地は地方自治体から貸し出し運営を民間に任せている。
- 事務局甲斐：逆に病院で整備をするとランニングコストがかかる。また、災害など有事の場合の復旧に関しても、契約事項に入っているので無償で迅速な対応が可能となる。
- 大和田委員：10年後の新築のための原資を貯めなければならないのであれば、有効な手段ではないかと。
- 事務局甲斐：喫緊の課題である駐車場の整備をはじめ、改修・整備が無償で可能となる。10年後の移転を考えこのタイミングでご提案させていただいた。
- 高橋委員：昨年、宇都宮市内の救急件数は2万1千件を超えており、年々増える一方となっている。そのうちJCHOさんは1200件あまりの受け入れ、そのうち宇都宮南消防救急隊に関しては500件近くと、市内の病院の中で一番多く受け入れをしていただいております、宇都宮南地区の地域住民にとって重要な病院となっていると率直に

感じている。

- 澤畑委員 : 今回の会議はテーマもハッキリとしており有意義であったと思うが、この場で初めて言われても難しい。事前にテーマを知らせていただければ、もっと中身の濃い議論ができたのではないか。
- 小久保委員 : 今回の 3 件について、駐車場については収支の観点から話を持っていけば実現の可能性はあるのでは。宿舎に関しては 10 年で果たして採算がとれるのか? 空調について考え方としては理解できるが、非資産化という観点は違うのでは。
- 長田委員長 : JCHO は古いシステムを引きずっている面があるので、こういう新しいシステムがはまり難いということが、説明していただいてよくわかった。今後、整合性が取れ実現できるように引き続き議論を重ねて、詰めていければ良いのではないか。
- 事務局甲斐 : 今回は事務局の試案を提言させていただきました。今後の協議会では実現に向けての問題点などを議論していきたい。
- 草野委員 : JCHO は住民の皆様の意見、行政のお力添えがあれば、動きやすくなる組織となっている。これからもこの会議の場で皆様の意見をいただき、進めていきたい。
- 澤畑委員 : GW は 4/30・5/2 の他は休みとのことだが、救急医療はどうなるのか?
- 藤川委員 : 当院は二次救急指定病院となっているため、救急は休日についても通常通りやらせていただく。
- 潮田委員 : 私の知人が先週の土曜日、夜 8 時頃に目の痛みがあり、JCHO で治療を受けられるか電話で問い合わせをした。JCHO に眼科の先生がいなかったため、当番医の病院を紹介された。そちらに電話をしたが、月曜日にならないと受診できないといわれた。その方は安易に救急車を使ってはいけない、との思いが根底にあり、更に痛みが増したらと不安な気持ちで週末を過ごした。その時の電話で、更に痛みが増したら大学病院という選択肢もありますよ、との一言があれば、不安な気持ちが薄らいだのではないか。今後も地元の頼られる病院として運営していただくために、敢えてお話をいたしました。
- 草野委員 : 詳しいお話を後ほどお聞かせください。
- 司会栗原 : 次回開催は今年の夏期を予定。この会議について出席名簿、議事録をホームページに掲載する予定にしている。皆様にご了承をお願いしたい。

以上

平成 31 年 3 月総務企画課作成